

はじめに

平成30年第1回倶知安町定例町議会の開会にあたり、12月定例会以降における教育行政の主だった事務事業の執行状況及びその概要についてご報告をさせていただきます。

(学校教育関連)

1 平成30年度の学級編制の動向について

平成30年度の学級編制にあたり、2月1日現在の主な状況について報告させていただきます。

小学校の状況では、倶知安小学校はすべての学年で2学級、北陽小学校は1年生が2学級となりますが、それ以外の学年は1学級、東小学校は全ての学年が1学級、西小学校は3年生のみが2学級となり、それ以外の学年は1学級、樺山分校は5年生がいないため、一部単式の3学級となる見込みとなっております。

北陽小学校では1年生の学級増に伴い、普通教室が不足することから、12月定例会で議決いただいた補正予算により教室改修工事を進めております。

また、中学校の状況では、1年生が126名で4学級となりますが、2年生、3年生が基準学級数では3学級となる見込みであることから、町費教員により学級編制の弾力化を行い、すべての学年を4学級でスタートさせたいと考えております。

なお、特別支援学級では、北陽小学校の弱視学級が児童の卒業により閉鎖となりますが、その他の変動はない見込みです。

2 中体連スキー競技の全道・全国大会への出場について

中体連の冬季スキー競技では、1月に全道大会、2月には全国大会が開催されました。

アルペン競技の全道大会は、1月12日から14日まで小樽市の朝里川温泉スキー場で開催され、本町からは男女各1名が出場しましたが、全国大会出場とはなりませんでした。

クロスカントリー競技の全道大会は、名寄市のなよろ健康の森クロスカントリースキーコースにおいて、1月12日から14日までの3日間の日程で開催され、男子5名、女子1名が出場しました。

結果は、3年生男子2名がフリーで6位と8位に入賞、そのうちの1名はクラシカルでも4位となり、この2名が全国大会への出場を決めました。

また、男子リレーでは2年生を含む3名が、見事なチームワークで全道優勝を勝ち取りました。

全国大会は、2月8日から11日まで秋田県鹿角市（かづのし）の花輪スキー場クロスカントリーコースで開催され、出場した2名の選手は入賞とはなりませんでしたが、道内勢では2番手、3番手の成績を残しました。

また、リレーでは1名が北海道代表のメンバーに選抜され、アンカーとして区間1位の好走により、北海道チームの全国大会5位入賞に大きく貢献しました。

(社会教育関連)

1 青少年教育事業について

平成30年倶知安町成人記念式典「はたちのつどい」を1月7日に公民館大ホールにて開催し、出席された101名の新成人のはたちの門出をお祝いしたところであります。

式には、新成人のご家族はもとより町議会議員の皆さまをはじめ多数のご来賓の方々にご出席をいただき、盛大かつ厳粛に式典が執り行われました。

次に、くっちゃん町子ども特派員派遣事業では、1月11日から13日まで、町内の各小学校から参加した5名の特派員が、今年度は「観光」をテーマに栃木県日光市を訪れ、市長へ表敬訪問を行った後、市役所の担当職員の方々に日光市の観光の現状などをお聞きしました。

また、実際に日光東照宮やその周辺を見学し、訪れていた観光客や現地の方々に取材を行ったところであります。

派遣事業終了後、8回の事後研修を行い、研修の成果を壁新聞にまとめ、現在、公民館ロビーに掲示しておりますので、是非多くの皆様にご覧頂きたいと思います。

2 ことばでつながるまちづくり事業（町民向け英語研修）について

平成29年度の町民向け英語研修を、昨年6月30日から12月1日までの期間で実施しました。

今年度は、昼間1コース、夜間2コースを定員各20名、小学4年生を対象とした児童向け研修を定員36名とし、回数も全コースを20回に増やして実施したところであります。

全体を通して研修参加者の出席率は8割を超えていることから、参加者の英会話習得への意欲が高いことがうかがえました。

なお、最終日に行ったアンケート結果では、各コースともに「大変有意義だった」「有意義だった」の回答が9割以上を占め、英語への理解についても「大変深まった」「深まった」の回答が9割以上との結果になっております。

3 小川原脩記念美術館について

美術館では、所蔵している小川原脩作品633点のうち小品を除く518点を収録した所蔵品図録「小川原脩コレクション」を作成しました。

今まで小川原作品を網羅した図録は作成していなかったため、画家としての歩みや作品の変遷を辿るうえで、広く活用が期待できるものであります。

さっそく町内の教育機関、道内外の美術館・図書館、大学、作品寄贈者などに配布し、多くの方に小川原脩作品を知ってもらうとともに、研究にも活用していただければと考えております。

4 社会体育事業について

平成29年度北海道スポーツ賞の贈呈式が、1月30日に札幌市において行われ、本町からは倶知安高校3年生の住吉輝紗良さんが受賞しました。

今回の受賞は、平成29年3月の第37回全日本スキー選手権大会でのフリースタイルスキー女子デュアルモーグル優勝と合わせ、JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスキー選手権大会フリースタイル競技モーグル高校生女子の部で、平成28年・29年連続優勝という成績が認められての受賞となったものです。

また、2月9日より大韓民国で開催されました平昌オリンピックに、女子バイアスロン競技日本代表として、本町出身の「古谷沙理」選手が選考されたことから、2月1日に町主催の壮行会を開催しました。

壮行会には、スキー関係者など約80名の皆様にご出席いただき、倶知安クロスカントリースキー少年団の後輩達からは、応援の言葉や花束・寄せ書きなどが贈られ、全員で古谷選手を激励しました。

これからもスキーの町倶知安から、古谷選手に続くオリンピック選手が輩出されることを期待するところであります。

むすびに

以上、第4回定例町議会以降の教育行政の主な事業についてご報告申し上げましたが、事務事業の詳細につきましては、以下に掲載しております資料をご参照いただきたいと思います。

これで教育行政報告を終わります。